

自立活動だより



紀北支援学校自立活動部
令和元年12月発行

今号は自立活動における抽出指導の『人間関係の形成』と『コミュニケーション』が主に関わる、セクション3の活動の中で使用しているアイテムや、などを紹介していききたいと思います。

ぼっちてんと

ビーズ株式会社 【ぼっちてんと】
https://www.bauhutte.jp/product/bt1_110_130/



教室に暗い場所を作りたくて、インターネットで探している時に発見しました。

その名も『ぼっちてんと』

名前は少しさみしそうですが、子どもたちや先生方、見学に来られた方にも好評のアイテムです。

窓を開け閉めしたり、上の部分も開閉できたりします。床の部分は開いています。

なんと言っても中が広く、大人も少しかがめば写真のように余裕で入れます！

外からは中の様子が分かりにくいですが、中からは周りの様子がうっすらと見え、声も聞こえるため

安心してテントの中で過ごせます。ちょっと外が気になるときは窓から覗くこともできます。

家に見立ててごっこ遊びをしたり、寝転んだりしてリラックスしてから授業を始めるようにしています。



いろ・ものカード

身近な物のカードをカテゴリー分けしたり、「あかいぼうし」「あおいくるま」などの形容詞をつけてそのカードを見つけたりしています。2枚、3枚とだんだんと増やしていくことで、集中して聞くことの学習にもつながっていきます。

聞き取れなかった時には「わからない」「ゆっくり言って」「もう一回」など、言葉で伝える学習にもなっています。

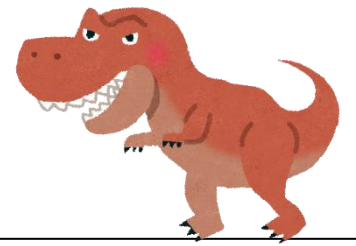
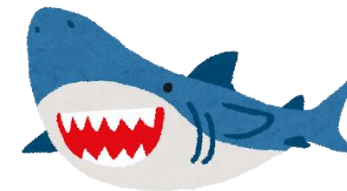
とてもシンプルな教材ですが、いろいろな使い方ができるカードです。



ワニさん・サメさん・きょうりゅうさん

自立活動室3にはリアルなゴムでできた手にはめる『ワニさん』と『サメさん』と『きょうりゅうさん』がいます。最初から手にはめて先生の手やお腹、頭をパクッと食べようとする子どもや、怖がって離れた所からおそろおそろのぞき込む子など反応はそれぞれです。

授業では、食べ物のおもちやカードを使って「ワニさんに〇〇を食べさせてあげてね」と、食べ物の名前を伝えて子どもたちが食べ物を食べさせてあげたり、「野菜を食べたいって言うてるよ！」「お菓子が食べたいんだって！」「赤い物がほしいな！」などカテゴリーを伝え、その食べ物を食べさせたりしながら言葉の学習を進めています。



トーキングゲーム

株式会社 tobiraco (トビラコ) 【トーキングゲームのページ】
<https://tobiraco.co.jp/item/card/>

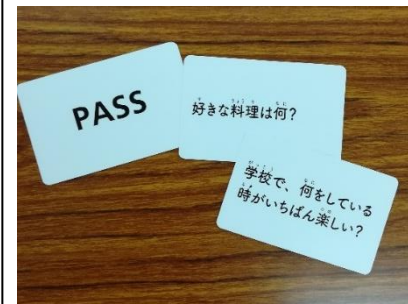


話をするのが苦手だったり、聞くことが苦手だったり・・・。

そんな人への『トーキングゲーム』

順番にめくっていくカードには、いろいろな質問が書かれていて2～6人で順番を決めめくった人はその質問に答えていきます。簡単な質問から、ちょっと考えなければいけない質問までいろいろあります。一緒にする人は答えている人の話を静かに聞きます。「早く！」とせかしたり、答えに対して笑ったりからかったりはしないようにします。答えるのが難しいな、答えたくないな・・・と思ったときに『PASS (パス) カード』を使って質問をパスすることができます。

このゲームは勝ち負けがありませんが、ゲームを進めていくことで一緒に遊んでいる人のことがわかったり、考え方の違いなどに気がついたりします。安心して人と話ができるために、授業に取り入れています。



いいなあ・・・と思うものはありましたか？

これからも楽しみながらやりとりできる物を見つけていきたいと思っています(^ ^)